

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪府立富田林高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒584-0035
大阪府富田林市谷川町4番30号

E-mail : tonkou@tondabayashi.osaka-c.ed.jp

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/tondabayashi/

児童生徒数：男子 512 名 女子 569 名 合計 1081 名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 一年次「総合的な学習の時間」における活動

生徒たちは毎週一回の「総合的な学習の時間」のなかで、大学訪問や裁判所見学、サイエンスキャンプなどの取り組みに参加した。それらの活動を通して得た関心をもとに、それぞれがテーマ設定を行い、調査研究をし、その成果を3000字のレポートにまとめて提出した。さらに研究のまとめをポスターセッションの形で学年の前で発表した。

2. 大阪ユネスコスクールネットワークとしての活動

2014年11月5-7日に世界30カ国の高校生を集めて「ユネスコスクール 高校生世界大会」が開催された。本校生も一昨年度から引き続き、運営スタッフとして参加、大阪府内及び岡山の高校生とともに準備を行い、世界中の高校生との交流を行った。

3. 国際交流活動

①ドイツ・ザールラントの高校生との交流活動

2014年3月21日～31日まで、15名の生徒がドイツ、ザールラント及び、フランス、ヴァルドワーズを訪問。ドイツの高校に通い、ホームステイを行った。また、フランスではユネスコ本部を訪問、ユネスコの活動についてレクチャーを受けたり、大阪府との交流都市であるヴァルドワーズを表敬訪問した。

2014年8月24日～9月6日には、ドイツ、ザールラントから16名の高校生が来日、授業に参加。生徒会とユネスコサークルが中心となって、部活動体験や、京都案内、調理体験などを企画し、ホームステイなどを通して交流活動を行った。

② 姉妹校であるオーストラリア、リートン校から7名の生徒が来日、授業に参加。ホームステイなどを通して交流活動を行った。また、2014年7月26日～8月9日まで、10名の生徒がリートン校を訪問、語学研修を行った。

③その他、短期及び、長期留学生の受け入れ、交流。台湾 新竹女子高級中学との交流などを行った。

4. ユネスコ部の活動

①2014年11月5～7日 「ユネスコスクール 高校生世界大会」に参加。三年間の総まとめとして運営を担い、世界の高校生と交流した。

②2014年11月16日、富田林市内で行われた「とんだばやし 地域の祭り」に参加。フランクフルトの販売とフェアトレード商品の販売を行い、アフリカ マゴソスクールの再建の支援にあてた。

③学園祭での「アフリカケニアのマゴソスクール支援プロジェクト」

ケニアでスラムの子供たちが通える学校づくりを進めている早川千晶さんのお話を聞き、その活動を支援するために学園祭では展示と物品販売を行って、その売り上げをマゴソスクールに寄付した。また、その後、マゴソスクールが火災にあったというニュースを知り、緊急で募金活動を行い、「地域の祭り」の売り上げとともに、マゴソスクールに送金した。

5. 家庭科の時間における地域の保育所との交流活動

6. 生徒会を中心とした石川及び富田林地域の清掃活動や宮古工業高校への募金活動

7. バトン部・ダンス部・吹奏楽などの地域の保育園、小学校、高齢者福祉施設などとの交流、及び地域の催しものへの参加

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）